



2024年3月期 第1四半期 決算説明

証券コード：6908

2023年8月2日

IRISO 電子工業株式会社
IRISO ELECTRONICS CO.,LTD.

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します
Together, surpassing expectations by empowering connections
to enrich society and delight people.



-  **I. 2024年3月期第1四半期 連結決算概要**
- II. 2024年3月期 連結決算見通し**
- III. トピックス**

1. 2023年度1Q 業績のポイントと上期計画

- 車載市場の伸長により、コンシューマー・インダストリアル市場の調整局面による減少をカバーし、売上高125億円、前年同期比+4.8%
- 新ERPシステム関連費用増等により、営業利益は9.7億円、前年同期比△30.8%、営業利益率は7.7%
- 車載を中心とした売上増、原価低減、一時費用減により、上期売上高270億円、営業利益率11%超を計画

単位：百万円

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年比	2022年度 上期	2023年度 上期計画	前年比
売上高	11,929	12,496	+567 +4.8%	25,543	27,000	+1,456 +5.7%
営業 利益	1,398	967	△430 △30.8%	3,063	3,000	△63 △2.1%
営業 利益率	11.7%	7.7%	△4.0pts	12.0%	11.1%	△0.9pts

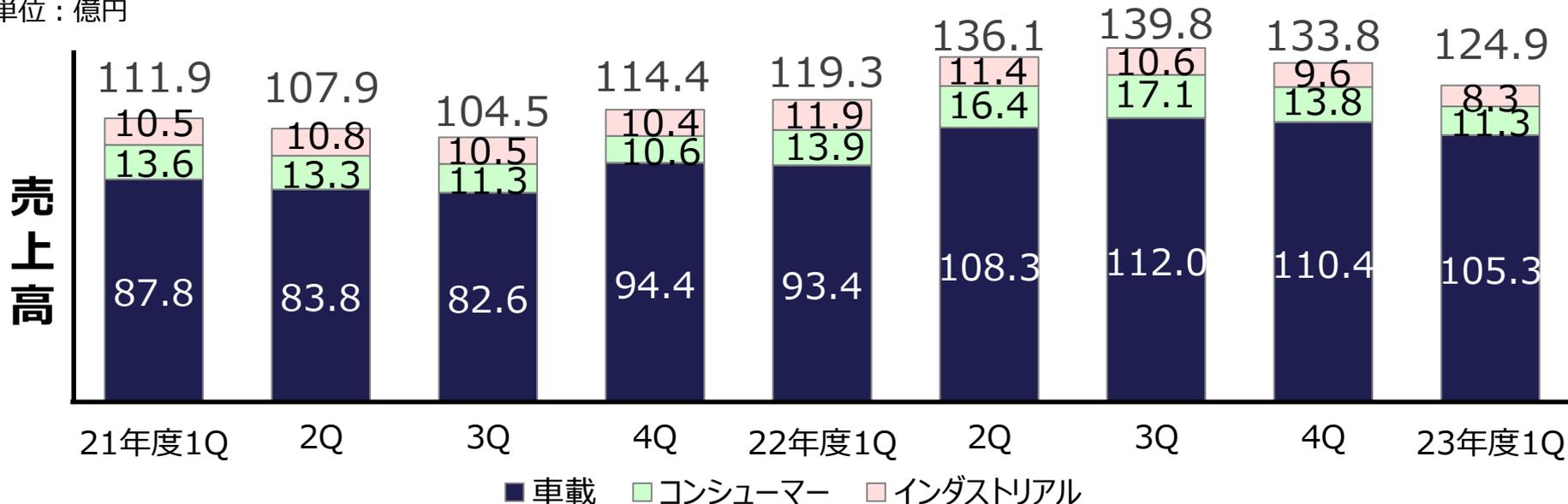
2. 2023年度1Q 連結決算の概要

単位：百万円

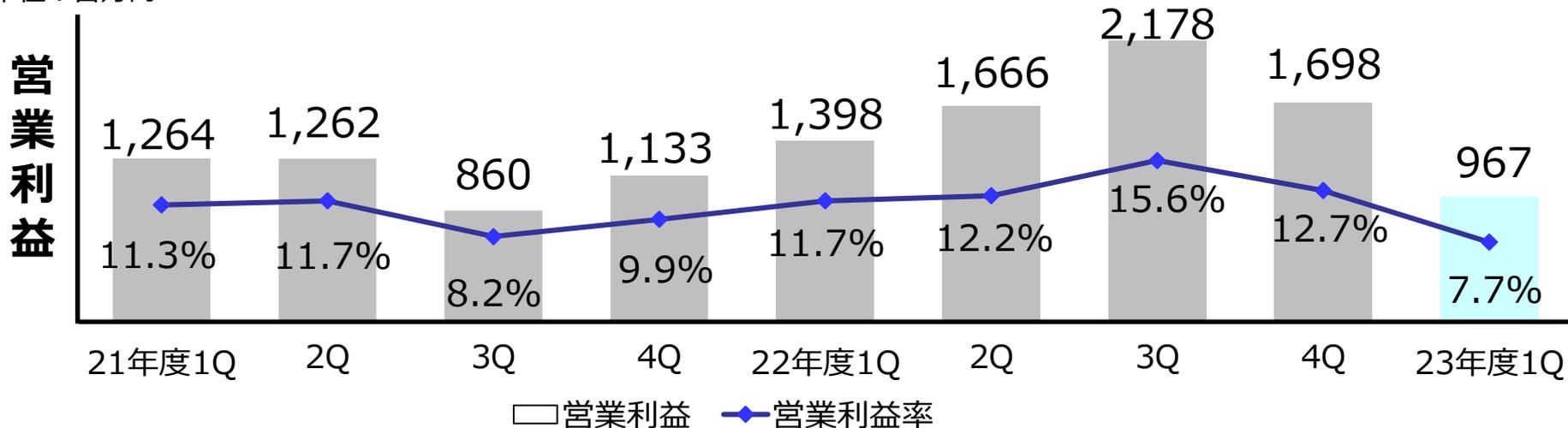
	22年度 1Q	23年度 1Q	増減額	増減率
売上高	11,929	12,496	+567	+4.8%
車載	9,337	10,534	+1,197	+12.8%
コンシューマー	1,398	1,130	△268	△19.2%
インダストリアル	1,193	831	△362	△30.3%
売上原価	7,926	8,646	+720	+9.1%
売上原価率	66.4%	69.2%		+2.7pts
販売管理費	2,604	2,882	+277	+10.7%
販売管理費率	21.8%	23.1%		+1.2pts
営業利益	1,398	967	△430	△30.8%
営業利益率	11.7%	7.7%		△4.0pts
税引前利益	1,700	1,622	△78	△4.6%
四半期純利益	1,436	1,251	△184	△12.9%
EPS	61.06円	53.19円		
設備投資	2,114	2,501	+387	+18.3%
減価償却	1,556	1,550	△5	△0.4%
為替レート	ドル：129.04円	138.11円	+9.07円	+7.0%
ユ-ロ	138.24円	150.35円	+12.11円	+8.8%
期中平均	元：19.60円	19.61円	+0.01円	+0.1%

3. 四半期別売上高・営業利益推移

単位：億円



単位：百万円



4. 地域別・製品別売上高

■ 地域別

単位：百万円

	22年度 1Q		23年度 1Q		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比
日本	2,524	21.2%	2,325	18.6%	△198
中華・韓国圏	4,488	37.6%	4,312	34.5%	△175
アメリカ	1,562	13.1%	1,718	13.8%	+156
欧州	1,886	15.8%	2,373	19.0%	+487
ASEAN	1,467	12.3%	1,765	14.1%	+297
合計	11,929	100.0%	12,496	100.0%	+567
海外比率		78.8%		81.4%	

■ 製品別

単位：百万円

	22年度 1Q		23年度 1Q		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比
BtoB	5,032	42.2%	5,588	44.7%	+556
FPC	2,694	22.6%	2,644	21.2%	△50
車載IF	3,204	26.9%	3,305	26.4%	+101
ピンヘッダー	478	4.0%	635	5.1%	+156
その他	520	4.3%	323	2.6%	△196
合計	11,929	100.0%	12,496	100.0%	+567

日本

- ・車載市場が回復も、産業機器需要減により減収

中華・韓国圏

- ・車載パワートレイン分野での在庫調整により減収

アメリカ、欧州

- ・車載市場回復により、成長に転ずる

BtoB

- ・車載市場の回復で増加
- ・“Z-Move[®]”、高速伝送対応新製品の貢献

5. 対前年同期比 売上・営業利益変動

単位：百万円

	売上高	営業利益	営業利益率	要因
22年度 1Q実績	11,929	1,398	11.7%	
22年4～5月上海 ロックダウン影響戻し	+540	+180		売上減並びにロックダウン対応追加経費減
		△365		ロックダウンによる固定費営業外処理の戻し
為替影響	+520	0		USD: 129.04円→138.11円、107% EUR: 138.24円→150.35円、109% CNY: 19.60円→19.61円、100% →営業利益率△0.4%押し下げ
物量減	△492	△245		
材料費増減		△100		
固定費増		△210		人件費、経費増
一時費用		△370		・新ERP立上げによる経費増、資産減却、債券放棄他 →営業利益率△3.0%押し下げ
原価低減他		+680		収益構造改善による原価低減他
変動要因 計	+567	△430		
23年度 1Q 実績	12,496	967	7.7%	

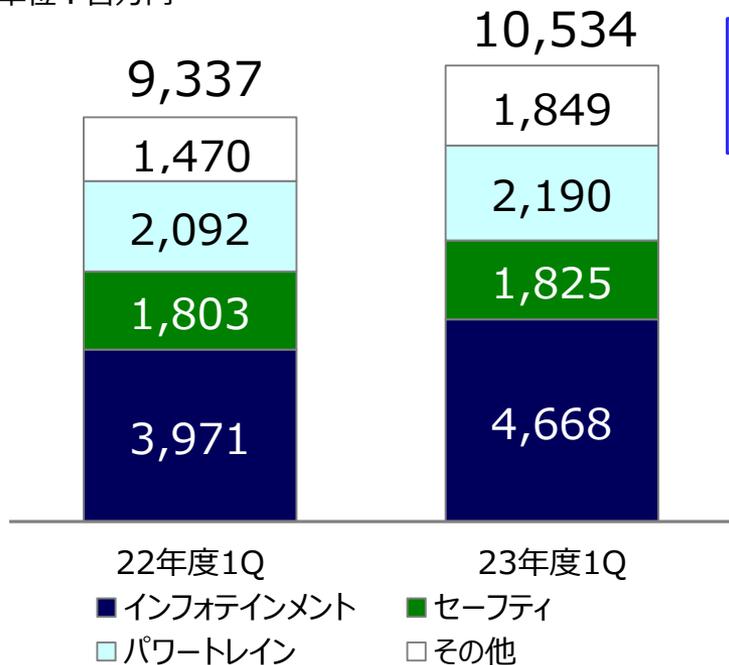
6. 連結貸借対照表の状況

単位：百万円

	22年度	23年度 第1四半期	前年末比
流動資産	46,194	48,614	+2,419
現金及び預金	18,640	20,419	+1,778
売掛債権	13,956	14,070	+114
棚卸資産	12,067	12,594	+527
固定資産	36,297	37,521	+1,224
資産合計	82,491	86,135	+3,644
負債合計	14,472	15,991	+1,519
買掛債務	4,364	4,360	△3
借入金	2,493	5,221	+2,728
純資産合計	68,019	70,144	+2,124
株主資本計	58,787	58,145	△642
自己資本比率	81.7%	80.7%	△1.0pts

■ 前年比+1,197百万円 (+12.8%)

単位：百万円



・パワートレイン分野で一部調整あるも、インフォテインメント分野中心に回復

インフォテインメント

- ・海外顧客向け増加
- ・従来のナビ向け以外にも、液晶パネルやIVI (In-vehicle Infotainment) 向けも貢献

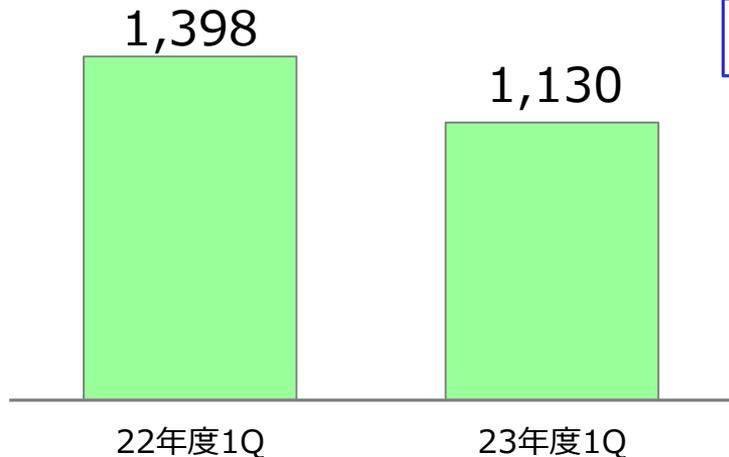
パワートレイン

- ・中国での在庫調整により、22年度4Q比73%。2Q以降は正常化の見込み
- ・充電器向けは堅調を維持

	22年度				23年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
インフォテインメント	3,971	4,565	4,401	4,392	4,668
セーフティ	1,803	1,946	1,843	1,852	1,825
パワートレイン	2,092	2,496	3,186	2,996	2,190
その他	1,470	1,820	1,773	1,799	1,849
合計	9,337	10,828	11,204	11,039	10,534

■コンシューマー市場：前年比△268百万円 (△19.2%)

単位：百万円

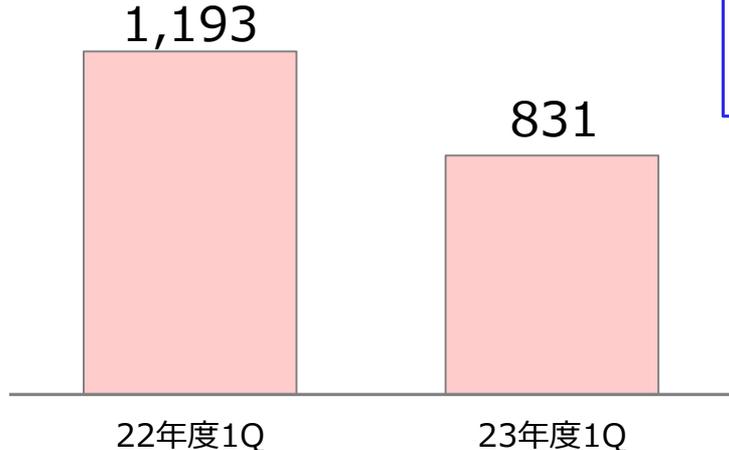


・巣ごもり需要終了でテレビやOA機器向け減少

22年度				23年度
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
1,398	1,647	1,710	1,385	1,130

■インダストリアル市場：前年比△362百万円 (△30.3%)

単位：百万円



・中国の設備投資調整、5G基地局向けの在庫調整影響により減少

22年度				23年度
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
1,193	1,138	1,060	960	831



I. 2024年3月期第1四半期 連結決算概要

 **II. 2024年3月期 連結決算見通し**

III. トピックス

1. 2023年度 業績予想

・2Q以降の為替レート見直しを行い、上期計画を公表すると共に、通期計画を変更
 ドル:130→140円、ユーロ:140→155円、中国元:19.50→20円

単位：百万円

	22年度		23年度			前年比	
	上期	通期	上期計画	通期 期初計画	通期 修正計画	対上期	対通期
売上高	25,543	52,903	27,000	55,000	57,000	+1,456 +5.7%	+4,096 +7.7%
売上原価率	67.2%	67.3%	67.7%	67.0%	67.5%	+0.5pts	+0.2pts
営業利益	3,063	6,940	3,000	7,700	7,700	△63 △2.1%	+759 +10.9%
営業利率	12.0%	13.1%	11.1%	14.0%	13.5%	△0.9pts	+0.4pts
税引前利益	3,639	7,034	3,500	7,350	8,000	△139	+965
当期純利益	2,901	5,541	2,700	5,700	6,200	△201	+658
EPS	123.33円	235.58円	114.77円	244.40円	263.56円		
為替レート 期中平均	ドル：133.46円 ユーロ：138.79円 元：19.82円	134.95円 141.24円 19.68円	138.92円 152.34円 19.77円	130.00円 140.00円 19.50円	139.42円 153.57円 19.88円	+5.46円 +13.55円 △0.05円	+4.47円 +12.33円 +0.20円
設備投資	-	8,427	-	10,000	10,200	-	+1,772
減価償却	-	6,168	-	6,500	6,700	-	+532

2. 23年度1Q-2Q 売上・営業利益変動

単位：百万円

	売上高	営業利益	営業利益率	要因
23年度 1Q実績	12,496	967	7.7%	
一時費用減		+190		資産減却、債権放棄他減
為替影響	+130	0		
物量増減	+1,876	+930		中国、日本での車載市場を中心とした売上増
原価低減		+550		
その他		△605		新ERP立上げ等事業リスク他
変動要因 計	+2,006	+1,065		
23年度 2Q計画	14,503	2,032	14.0%	
23年度 上期計画	27,000	3,000	11.1%	

	22年度				23年度		1Q-2Q計画	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q計画	増減額	増減率
車載	9,337	10,828	11,204	11,039	10,534	12,315	+1,781	+16.9%
コンシューマー	1,398	1,647	1,710	1,385	1,130	1,319	+189	+16.7%
インダストリアル	1,193	1,138	1,060	960	831	868	+36	+4.4%
合計	11,929	13,614	13,975	13,384	12,496	14,503	+2,006	+16.1%

項目	内容
<p>① 収益構造改善プロジェクトの刈り取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・価格政策の見直し、ロングテール対策 ・主力製品の原価低減 ・生産性向上、物流費改革他 ・調達戦略策定、経費削減(23年4月より追加)
<p>② 戦略製品ラインナップ強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車載xEV向け新製品投入による更なる深耕 ・次世代高速伝送対応コネクタの開発 ・車載カメラ向け製品ラインナップの強化 ・統合ECU向けコネクタの開発
<p>③ 営業力強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高速伝送対応コネクタの全市場への展開 ・インダストリアル市場拡販のためのリソース強化 ・インド・東南アジア地域における営業体制強化
<p>④ 生産能力拡大、BCPの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花巻工場：2023年11月稼働の実現 →10月稼働へ前倒し ・秋田工場：2025年稼働に向けPJ実行
<p>⑤ 新ERPシステムの円滑な立ち上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月1日より新ERP切り替え推進



I. 2024年3月期第1四半期 連結決算概要

II. 2024年3月期 連結決算見通し

 **III. トピックス**

■ 戦略製品の開発

シリーズ

Wire to Boardコネクタ

13146 シリーズ



開発の狙い

BMS向け製品ラインナップ拡充による、グローバルでの更なる地位確立

- ・中国xEVで高いシェアを持つ13065シリーズに加え、EUでの車載規格対応製品を2023年末から市場投入

※BMS市場予測：2023年から2028年のCAGR18.7%以上
(グローバルインフォメーション社調査)

Wire to Boardコネクタ

13156 シリーズ (スケーラブル コネクタ)



今後市場の急拡大が見込まれる統合ECUと外部機器接続用コネクタの開発、市場を創成

- ・様々な顧客ニーズに応える拡張性、高速伝送対応の革新的インターフェースコネクタ

※統合ECU市場予測：2035年に2021年比15.1倍
(富士キメラ総研調査)

■ Bosch社より「Global Supplier Award 2023」を受賞

- 世界を代表する車載部品メーカーであるBosch社より、約35,000社のサプライヤーの中から、46社が選出。
- 「Global Supplier Award」は品質、コスト、持続可能性、革新性など、さまざまな項目で卓越した業績を示したサプライヤーに贈られる賞で、イリソはコネクタメーカーとして唯一選出され、「原材料・部品」部門で、受賞



コネクタの種類

基板対基板コネクタ (BtoBコネクタ)

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ(ボードtoボードコネクタ)とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B (ビー・ツー・ビー)は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

FPC/FFCコネクタ

FPC基板(Flexible printed circuits)やFFCケーブル(Flexible flat cable)の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF(Zero insertion Force)タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

IFコネクタ

IFとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O(インプット/アウトプット)コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面(裏・表面)に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン(電導体)”をハウジング(樹脂材でできた絶縁体)で支えたプラグ(オス側)コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続(基板間接続)に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します
Together, surpassing expectations by empowering connections
to enrich society and delight people.